

N U K U M O R I

# ぬくもり

No.75  
2025.2.15発行



下肢静脈瘤レーザー手術の様子

### 基本理念

地域医療への貢献  
「肌のぬくもりある医療」の実践

### 基本方針

- 一、 救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
- 一、 高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
- 一、 患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
- 一、 職員が働きやすく、誇りを持てる病院を目指します。

肌のぬくもりある医療



私達は笑顔を大切にします

## 宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635  
TEL.0978-37-2300(代) FAX.0978-37-2307  
<http://www.utihp.jp/>



日本医療機能評価機構

## CONTENTS

新年のご挨拶	2
多数傷病者対応合同訓練	4
BLS研修	4
大分県病院学会発表	5
健康推進員全体研修会	5
心不全ポイントについて講演	5
医療連携情報交換会	6
リレー・フォー・ライフ・ジャパン中津	6
TQM活動報告会	7
院内看護研究発表会	7
高齢者施設等感染対策向上加算Iに係る研修会	7
外来担当医師一覧表	8

# 新年のご挨拶



理事長  
時枝 正史

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は正月早々、能登半島地震や羽田空港の航空機衝突事故から始まり、世界に目を向けてもいたるところで戦火が飛び交いました。また日本も米国も新たな国のリーダーに変わり、本年も先行き不透明ではありますが何はともあれ世界の平和を願うばかりです。

年末から年始にかけては季節性インフルエンザの大流行に見舞われ、大分県は一時全国最多となり警報レベルの3倍以上を記録しました。

県北でも非常に多くの方がかかり、発熱外来に奔走された医療機関におかれましては大変なご苦労であったと思います。当医師会病院は地域医療支援病院であり、かかりつけ医から紹介される患者さまへの医療提供、また救急医療の提供などで地域の医療支援を行っております。今回も発熱外来や肺炎など重症患者さまの受け入れなどで、その支えができたのではないかと思います。当院への受診はかかりつけ医からの紹介が基本となりますが、夜間や休日等で急を要するような場合は可能な限りお受けしております。

今年の干支は乙巳（きのとみ）。『きのと』は甲乙の乙という字で、陰陽五行説でいうところの陰に属します。乙も陰も一見ネガティブなイメージですが、「陽」の無形の活動エネルギーに對して、「陰」には物質的・実質的といった意味

があります。力を蓄えながら、蛇行しながらもゆつくりとでも前進していく年になればと思います。医師会病院では、昨秋より放射線科の常勤医師も加わり、より質の高い画像診断ができるようになりました。また下肢静脈瘤に対するレーザー治療など新たな治療も提供できるようになっております。今後もさらに幅の広い医療を目指していきたいと考えております。

本年は宇佐神宮が現在の小椋山に御鎮座して千三百年のおめでたい年、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

# 新年のご挨拶



院長  
柏木 孝仁

新年明けましておめでとうございます。

昨年 は 元 日 の 能 登 半 島 地 震 に 始 ま り、 2 日 の 羽 田 空 港 で の 日 航 機 衝 突 炎 上 事 故 と 松 ノ 内 か ら 大 災 害 大 事 故 が 多 発 し、 行 く 末 が 心 配 さ れ た 1 年 で し た。 そ の 中 に あ っ て、 日 本 人 の 冷 静 な 対応 と 規 律 正 し い 行 動 が 世 界 か ら 称 賛 さ れ ま し た。

も ち ろ ん 嬉 し い ニ ュ ー ス も あ り、 3 月 の ア メ リ カ ア カ デ ミ ー 賞 で 日 本 の 2 作 品 が 見 事 受 賞 し、 年 末 に は エ ミ ー 賞、 ゴ ー ル デ ン グ ラ ブ 賞 で 「 S H O G U N 」 が 主 要 部 門 を 独 占 し エ ン タ ー テ イ メ ン ト で も 日 本 の 存 在 感 が 注 目 さ れ ま し た。 ス ポ ー ツ で も パ リ オ リ ン ピ ッ ク に お い て 海 外

オ リ ン ピ ッ ク で は 最 多 の 4 5 個 の メ ダ ル を 獲 得 し ま し た。 ま た ア メ リ カ 大 リ ー グ で は 大 谷 翔 平 選手 が 数 々 の 快 挙 を 達成 し、 3 年 連続 の M V P を 受賞 し て い ま す。 サ ッ カ ー 日 本 代表 も ワ ー ル ド カ ッ プ 予 選 で 圧倒 的 な 強 さ を 見 せ、 ア ジ ア No. 1 の 地位 を 不動 の も の と し て い ま す。

た だ 政 治 の 世 界 で は、 岸 田 首相 か ら 石 破 首相 に 代 わ り、 秋 の 衆 議 院 選 で 自 民 党 は 大 敗 を 喫 し 少数 与 党 と な っ た 為 に 不安 定 な 政 治 状 況 が 続 い て い ま す。 こ の 大 敗 に 対 し て 誰 も 責任 を 取 ろ う と し な い 姿 勢 が 今 の 自 民 党 を 表 し て い る よ う で す。

現 在 は ポ ス ト コ ロ ナ と 言 わ れ て い ま す が、 別 に 新 型 コ ロ ナ が 消 え た わ け で は な く、 今 で も 多数 の 感染者 を 出 し て い ま す。 当 院 は 地域 唯一 の 新 型 コ ロ ナ 受け 入れ 病院 と し て 日 々 コ ロ ナ 患者 を 診 て い ま す が、 特 に 高 齢 者 で は 新 型 コ ロ ナ が 引き 金 と な っ て、 不幸 な 転 機 を 迎 え る 方 が 以前

よ り 増 え て い る 印象 で す。

1 月 8 日 に 日 向 灘 で 起 き た マ グ ニ チ ュ ー ド 7 の 地震 に よ り、 南 海 ト ラ フ 巨 大 地震 へ の 警戒 感が さ ら に 強 く な り、 今 後 3 0 年 以 内 の 発 生 確 率 が 8 0 % に 上昇 し た と の 調査 委 員 会 の 発表 が 出 ま し た。 当 院 は 災 害 拠 点 病院 で あ り、 D M A T 指定 病院 で も あ り ま す。 災 害 時 に は 宇 佐 高 田 地域 唯一 の 拠 点 病院 と な る た め、 最新 の 耐 震 基準 に 合 わ せ る べ く 早 急 に 建 て 替 え に 向 け て 宇 佐 市 と 協 議 検 討 し て い ま す。

今 年 1 年 が 皆 様 に と っ て、 健康 で 幸 福 な 年 であり ま す よ う 心 よ り 祈 っ て お り ま す。 本 年 も 宇 佐 高 田 医 師 会 病 院 を よ ろ し く お 願 い 致 し ま す。





# 多数傷病者対応合同訓練

11月13日(水)、宇佐市消防本部グラウンドにて、令和6年度多数傷病者対応合同訓練が行われました。当院からは蔵田救急・診療部長を始めDMATが参加し、指揮統制訓練、救出・搬送訓練、トリアージ訓練、救護所運営訓練等が行われました。

当院は災害拠点病院・大分DMAT指定病院として、宇佐高田地域災害医療の中心的な役割を担っています。今後も関係各所と連携し定期的な訓練を行い、有事の際に迅速かつ適切な対応ができるよう取り組んで参ります。



# BLS研修

12月16日(月)～18日(水)、全職員を対象にBLS研修を行いました。今回は宇佐市救急隊の方にもご協力を頂きました。

当院では、職員が質の高い胸骨圧迫を行えるよう、アプリを使用し質の評価を行っています。

今後も研修を継続し、どのような状況でも対応できるよう取り組んで参ります。

◆BLSとは…心停止または呼吸停止に対する一次救命処置。  
急に倒れたり窒息したりした人に対して、その場に居合わせた人が、救急隊や医師に引き継ぐまでの間に行う応急手当のこと。



## 胸骨圧迫のポイント

有効な絶え間ない胸骨圧迫!!

- ①位置: 胸骨の下半分
- ②姿勢: 腕は垂直
- ③速さ: 100～120回/分
- ④深さ: 約5cm(6cmを超えない)
- ⑤圧迫解除  
手根部で!  
指先は必ず胸壁から離す!





# 大分県病院学会発表

9月29日(日)、別府ビーコンプラザにて、第42回大分県病院学会が開催され、当院からは平川看護師と長尾看護師が発表しました。

口演 「心不全ポイント導入が、患者の意識変化を生んだケース  
～A氏の導入から早期受診、今後の展望～」  
リハビリテーション課 看護師 平川 祐子

ポスターセッション 「手術室アクションカードの活用  
～行動に移せるカードを目指して～」  
手術室 看護師 長尾 和哉



# 宇佐市健康推進事業 健康推進員全体研修会

12月13日(金)、さんさん館にて、宇佐市健康推進事業 健康推進員全体研修会が行われ、リハビリテーション課 岩尾主任が講演しました。

慢性腎臓病の基本的知識や運動療法の効果についての講義、座位・立位で行える4種の運動の実践などを行いました。

「生き生きすごそう！腎臓を育む生活術(運動編)」  
リハビリテーション課 理学療法士 岩尾 誠也



# 心不全ポイントについて講演

12月18日(水)、小野内科病院様にて、リハビリテーション課 平川看護師が心不全ポイントについて講演しました。

「心不全ポイント自己管理用紙、ハートノートのご紹介  
～当院の運用について～」  
リハビリテーション課 看護師 平川 祐子

- 心不全ポイント自己管理用紙とは…体重や血圧等の症状の変化を点数化する自己管理用紙。その点数で受診のタイミングが分かる。
- ハートノートとは…心不全患者様への指導パンフレット。





# 医療連携情報交換会

10月24日(木)、大研修室にて、医療連携情報交換会を臨床集談会と兼ねて開催しました。当院からは柏木院長、陣林副院長、臨床検査課 藤原主任が発表しました。医師会会員の先生方や北部保健所、宇佐市役所、豊後高田市役所の方々など多くのご参加を頂きました。

- ・「病院実績報告」 院長 柏木 孝仁
- ・「下肢静脈瘤（レーザー手術）のご紹介」 院長 柏木 孝仁
- ・「心エコー（新機器導入）による診断」 副院長 陣林 伯男・臨床検査技師 藤原 唯至



## リレー・フォー・ライフ・ジャパン中津

10月26日(土)14時から27日(日)10時にかけて、三光総合運動公園にて、リレー・フォー・ライフ・ジャパン中津が開催されました。

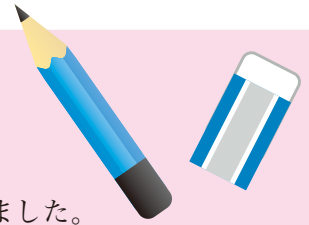
リレー・フォー・ライフとは、がん患者さんとその家族を支援するチャリティーイベントで、24時間チームの仲間とリレー形式でたすきを繋ぎ、がん撲滅を願って歩きます。

当院からは柏木院長、陣林副院長を始め、職員・家族が参加させて頂きました。残暑の中でしたが、最後までたすきを繋ぐことができました。

今後がん征圧・患者支援の輪が広がり、地域全体でがんと向き合い、がんに負けない社会が実現することを願っています。



# TQM 活動報告会



12月4日(水)、大研修室にて、当院では2回目となるTQM活動報告会を行いました。

TQMとは、Total Quality Managementの略で、総合的品質管理などと訳されます。医療では、全員・全体で、医療・サービスの質を、継続的に向上させることを目指す取り組みです。

今後も質の高い医療やサービスを提供できるよう、病院全体で取り組んで参ります。

- 1 リマインダーを使って安全確認！  
薬剤課 吉村 貴秀
- 2 患者の声に「耳をすませば」  
4階病棟 槌多 千恵
- 3 地域連携につながる栄養情報提供書作成  
栄養課 濱田 歩
- 4 地域の医療福祉機関へつなげよう  
～リハビリテーション情報提供率100%を目指して～  
リハビリテーション課 岩尾 誠也
- 5 器械セットを見直し、作業時間を減らそう！  
手術室 久保 朱里
- 6 救急対応の検査待ち時間短縮を目指す  
放射線課 安部 哲平



## 院内看護研究発表会

12月9日(月)、大研修室にて、院内看護研究発表会を行いました。

- 1 「安全な移送、移動の為に私達ができる事は」  
3階病棟 看護補助者 友延 ユミ
- 2 「人工肛門造設術後のセルフケアに向けた指導」  
3階病棟 看護師 廣瀬 悠希
- 3 「多職種カンファレンスに向けての取り組み」  
4階病棟 看護師 井ノ本 真吾



## 高齢者施設等感染対策向上加算Iに係る研修会

1月10日(金)、大研修室にて、高齢者施設等感染対策向上加算Iに係る研修会を行いました。是永 香織感染管理認定看護師が高齢者施設の職員の皆様に、標準予防策、感染経路予防策、日常の環境整備等について講演しました。



# 外来担当医師一覧表

時間帯	科 別	月	火	水	木	金	土
午 前	循 環 器	陣 林	田 原 卯 野	陣 林 (ペースメーカー)	卯 野	田 原 陣 林	—
	外 科	村 上	柏 木	蔵 田	江 上	柏 木	—
	消 化 器	濱 野	岡 嶋	岡 嶋	岡 嶋	濱 野	—
	呼 吸 器	—	升 井	—	—	西 山	—
	血 液 内 科	本 田	—	—	—	—	—
午 後	循 環 器	—	—	伊 藤	近 藤 (心カテ検査)	—	—
	呼 吸 器	—	升 井	—	—	—	—
	腎 臓 内 科	宗像(第2・第4)	—	—	—	有馬(第1・第3)	—
	血 液 内 科	—	—	—	中山(第2・第4)	—	—

氏 名	専 門 領 域
陣林 伯男	循環器 内科一般
卯野 明大	循環器 内科一般
近藤 克洋(非常勤)	循環器科一般
田原 功道(非常勤)	循環器 内科一般
伊藤 達郎(非常勤)	循環器 内科一般
地域枠 加藤 京	循環器科一般
消化器科 岡嶋 智也	消化器科一般
濱野 朋恵	消化器科一般
血液内科 中山 俊之(非常勤)	血液内科 内科一般
本田 周平(非常勤)	血液内科 内科一般

氏 名	専 門 領 域
外科 柏木 孝仁	消化器外科 下肢静脈瘤 外科一般
村上 光彦	消化器外科 外科一般
江上 拓哉	消化器外科 外科一般
蔵田 伸明	消化器外科 外科一般
呼吸器科 升井 亮介(非常勤)	呼吸器内科
西山 讓幾(非常勤)	呼吸器内科
腎臓内科 有馬 誠(非常勤)	腎臓内科一般
宗像さやか(非常勤)	腎臓内科一般
放射線科 首藤利英子	画像診断

## ●外来受付時間

午前8:30~11:00 (午後の特殊外来は、午後3:00まで受付)  
 予約の患者様が優先になります。ただし、急患はこの限りではありません。  
 ※当病院は、原則として紹介状が必要です。

## ●診療時間

午前9:00~12:00/午後1:00~4:00

## ●休診日

土曜日午後、日曜日、祝日、年末年始(12/30 ~ 1/3)

## ●予約受付時間

平日 午後2:00~5:00

## 編集後記

明けましておめでとうございます。  
 表紙は下肢静脈瘤レーザー手術の様子です。  
 当院では、令和6年7月に下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施医(柏木院長)及び血管内治療実施基準による実施施設の認定を頂き、9月よりレーザー手術(下肢静脈瘤血管内焼灼術)を開始しました。レーザー手術は、先端からレーザー光を照射する細長いレーザーファイバーを静脈の奥に挿入し、内側から熱を加えて静脈を焼き縮めて閉塞させる治療です。静脈を抜き取る従来の手術に比べて切開の傷が小さいため、体への負担が軽く低侵襲な治療で、再発が少ないこともメリットの一つです。  
 今年も皆様へより良い情報を発信して参りたいと思います。宜しくお願い致します。

ぬくもり No.75 2025年2月15日発行

## 宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635  
 TEL 0978-37-2300(代) FAX 0978-37-2307

ホームページ <http://www.utihp.jp/>

これまでの広報誌「ぬくもり」もホームページで閲覧できます。



- 地域医療支援病院
- 紹介受診重点医療機関
- (財)日本医療機能評価機構 認定 (機能種別版評価項目3rdG:Ver. 2.0)
- 第2次救急指定医療機関
- 災害拠点病院(大分DMAT指定病院)
- 僻地医療拠点病院・大分県HIV診療協力病院
- 第2種感染症指定医療機関(SARS初療機関)
- 大分県重症難病患者医療ネットワーク基幹協力病院
- 協力型臨床研修病院
- 循環器専門医研修関連施設
- 日本外科学会外科専門医制度関連施設
- NST稼働施設認定病院
- 下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設
- 第一種協定医療機関・第二種協定指定医療機関
- 結核指定医療機関